

第468回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	15番	新風未来の会 佐藤 秀行	1. 高齢者等支援事業について 2. 市制施行70周年記念事業について 3. 本市の教育について	市長 教育長
2	7番	新風未来の会 佐久間 儀郎	1. 迅速な罹災証明書の発行・交付について 2. 暑熱避難施設(クーリングシェルター)について	市長
3	9番	新風未来の会 小川 正人	1. 選挙の投票率向上対策について 2. 水害対策について 3. 益岡公園について 4. 白石市の組織について	市長
4	12番	新風未来の会 佐久間 順子	1. 子供の食と健康について 2. 不妊と食生活の取組について 3. 食生活改善と腸内環境改善について	市長
5	10番	新風未来の会 角 張 大治	1. (仮称)道の駅しろいしについて 2. (仮称)道の駅しろいし及び関連する公共施設について	市長
6	13番	新風未来の会 村上 由紀	1. 幼児教育・保育のあり方に関する基本方針(案)について 2. 安心して子供を産み育てられるまちづくりについて	市長 教育長
7	6番	公明党 大森 貴之	1. マイナンバーカードの健康保険証利用登録等について 2. 内水氾濫防止について 3. 大規模災害発生時の仮設住宅等について	市長
8	1番	日本共産党 佐藤 龍彦	1. 本市の教育及び教育環境について 2. 公立刈田総合病院の現状と地域医療について	市長 教育長
9	2番	自民市民の会 高子 秀明	1. (仮称)白石中央SIC周辺整備後の本市経済効果について	市長
10	11番	新風未来の会 大内 卓也	1. 第1回女子硬式野球交流大会について	市長
11	8番	新風未来の会 四竈 英夫	1. 再生可能エネルギーの推進について 2. 今後の小中学校教育のあり方について	市長 教育長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 3日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	15 番 佐藤 秀行
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 高齢者等支援事業について

【質問項目】

- (1) 高齢者タクシー利用助成事業について
- (2) 重度心身障害者移動サービス事業について
- (3) 高齢者等の足の確保について

【質問要旨】

(1) この事業は、1乗車あたり500円を割引く助成券を月2枚交付している事業であります。以前、1回の乗車の割引を1,000円以上にできないものかとお伺いした際に、市長は、今後さらに高齢化が進展していく中で、高齢者の足の確保、移動支援という観点から見ると、様々な角度から検討する必要があると考えるので、前向きに検討していきたいと答弁されています。その後の検討された状況についてお伺いします。

(2) この事業は、心身に重度の障害を有する方の社会参加を促進するため、タクシー券または燃料券を交付して、移動に係る経費の一部を助成するというものです。そこで燃料券を希望する場合について、申請に必要なものの中に、障害を有する方の運転免許証、自動車検査証等があります。つまりこの助成対象となる自動車は、あくまで障害を有する方が所有する自動車ということになります。本市においても高齢化が進み、サービス利用の対象となる方も高齢の方がさらに多くなっています。その結果、通院等の足としてタクシーを利用される方もいれば、家族の自動車の運転で送り迎えをされている方も同様に多くなっています。燃料券を希望する場合、その対象を運転をしている家族にまで広げることも必要ではないかと考えます。市長の見解を伺います。

(3) 今後高齢者等の足の確保、移動支援等について、どのようにお考えか。市長の見解を伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 3日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	15 番 佐藤 秀行
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 市制施行70周年記念事業について

【質問項目】

- (1)市制施行70周年を迎える市長の思いを伺う。
- (2)「白石市民団海老名の旅」について
- (3)こけしの原材料のミズキの植樹について

【質問要旨】

本市は、令和6年4月1日をもって市制施行70周年を迎えました。市はふるさと白石に対する愛着やシビックプライドの醸成につなげられるよう、今年度1年間を70周年記念事業実施期間とし、様々な記念事業を開催するとしています。

また、広く市民や市外に向けて市制施行70周年であることを周知するため、各種イベントについて「市制施行70周年記念事業」と題して開催をするとしています。

このことを踏まえお伺いします。

(1)本市の市制施行70周年を迎えるにあたり、市長の思いを伺います。

(2)海老名市が姉妹都市となり、本年10月で姉妹都市提携30周年になります。このことを記念し、本年9月に「白石市民団海老名の旅」として、市民を募集するとしています。この事業の内容についてお伺いします。

(3)本年、こけし村は開村30周年を迎えます。平成6年に完成した弥治郎こけし村は、平成30年にリノベーションを終え、こけしの収蔵展示や普及啓発、技能の伝承の拠点として新たな展開をしています。こけしはミズキ、イタヤカエデ、ツバキ、サクラ等の木を原材料として作られています。特にミズキは多く利用されていますが、最近ミズキの木の不足等により入手しづらい状況にあります。このことを踏まえ、ミズキの植樹について検討してはどうかと考えます。市長の見解を伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6年 6月 3日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	15 番 佐藤 秀行
会派名	新風未来の会

【質問事項】 3. 本市の教育について

【質問項目】

- (1) 3期目にかかる教育長の思いについて
- (2) 文部科学省から職員派遣のねらいと期待について
- (3) 日本語教育の充実について

【質問要旨】

(1)本市は令和6年4月1日から組織の一部再編を行いました。その中で、教育施策を推進する体制を強化するため、「教育部」を新設しました。また、その教育部に「こども未来課」を新設し、保育園に関する業務、幼稚園に関する業務を統合して、未就学児の保育の教育の充実・推進を図るとともに、小中学校との連携を強化するため、「幼保小の架け橋プログラム」の充実に努めるとしています。本市の教育にかかる教育長3期目の思いを改めて伺います。

(2)本年4月から、文科省より本市に職員が派遣され、山田教育部長が着任されましたが、どのようなねらい、期待を持って文科省から職員を派遣いただいたのか、見解をお伺いいたします。

(3)日本語教育の充実に関しては、これまでも一般質問で質問してまいりましたが、本市の課題の一つに、国語の読解力の問題があります。日本語の充実、国語の能力というものが学力向上のために、また英語教育推進のために欠かすことができないと考えます。何より日本語教育の充実が重要であると考えます。そのことについてどのように考え、また今後どのように取り組んでいこうとお考えか、見解をお伺いいたします。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 5日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	7 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 迅速な罹災証明書の発行・交付について

【質問項目】

- (1)被害認定調査の実施状況を伺う。
- (2)システムの活用とマニュアルの作成状況を伺う。
- (3)罹災証明書の電子申請及びコンビニ交付をしてはどうか。

【質問要旨】

地域防災計画では、災害による住宅等被害程度の認定、罹災証明書交付体制の確立、速やかに被災者に罹災証明書を交付し、また調査や発行事務の効率化を図るため、マニュアル作成と先導的事例や被災者支援システム等の活用について所要の体制整備を図るよう努めるとしている。

1. 迅速な罹災証明書の発行・交付について

(1)本市は住宅の調査を住宅被害認定基準に基づいて実施し、被害状況写真を被災者から提供を受けて被害程度を判定していると思うが、実施状況を伺う。

(2)岩沼市が、民間の情報通信事業者の支援をうけ、調査記録などの作業をデジタル化する新システムを導入したと報道がされた。交付までの作業時間を約半分に短縮し、被災者への素早い生活再建支援につながるという。本市の証明書交付業務を支援するシステムの活用と発行事務の効率化を図るためのマニュアル作成状況を伺う。

(3)罹災証明書の電子申請及びコンビニ交付について見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 5日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	7 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 暑熱避難施設(クーリングシェルター)について

【質問項目】

- (1) 公共施設のクーリングシェルター指定について
- (2) 冷房設備が整う民間施設のクーリングシェルター指定について
- (3) 夏場に休憩場所として施設を開放してはどうか。

【質問要旨】

気候変動適応法により、市町村は基準に適合する市町村内の施設を暑熱避難施設（以下「クーリングシェルター」という）として指定できる制度が創設された。本市も気候変動により夏場の熱中症リスクが高まっていることから、市内において暑さをしのぐ場所を確保することで、熱中症による人の健康に係る被害の発生を防止するため、クーリングシェルターを指定し、熱中症警戒情報以上の発表期間中に積極的に運用してはどうかと考える。

- (1) 庁舎を含む図書館や公民館等の公共施設をクーリングシェルターに指定することについて見解を伺う。
- (2) 行政とともに熱中症対策に取り組んで頂けるよう冷房設備が整う民間施設を避難所として開放するように募集することについて見解を伺う。
- (3) 熱中症特別警戒情報の発表が基準となるが、発表されていない場合でも、夏場は、市民が暑さからしのげる休憩場所として広く開放することはどうか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 小川 正人
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 選挙の投票率向上対策について

【質問項目】

- (1) 期日前投票所の増設について
- (2) 投票所の増設について

【質問要旨】

近年、選挙の投票率はマイナス傾向にあり、市議会議員選挙の投票率は、令和元年は63.78%、令和5年は55.20%となり△8.58%である。

特に、白石第3投票所は令和元年比△11.34%、福岡第1投票所は△7.12%、白石第8投票所は△11.43%であり、この3か所は有権者数も多く投票所までの距離が遠い方も多いことから、棄権する有権者が多いのではないかと推測される。

それを踏まえて市長の見解を伺う。

- (1) 期日前投票所の増設を検討する考えがあるか伺う。
- (2) 投票所の増設を行い、投票所までの距離を短くすべきであると考えているが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 小川 正人
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 水害対策について

【質問項目】

(1)内水氾濫への対策について

- ①排水車の購入について
- ②遊水地及び雨水の排水に対する計画について

【質問要旨】

令和元年10月の台風第19号の水害は記憶に残る大きな災害であった。台風が来ないに越したことはないが、こればかりは止める事はできないので災害に備えて対策が必要である。

そこで、(1)内水氾濫への対策について、次の点を伺う。

- ①排水車の購入を検討すべきと考えるが、見解を伺う。
- ②ホワイトキューブ周辺の鷹巣地区、東町3丁目、東町4丁目の内水氾濫対策として、遊水池や雨水の排水対策が必要と考えるが、市長の見解を伺う。また、計画があるのであればお示し願う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6年 6月 6日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 小川 正人
会派名	新風未来の会

【質問事項】 3. 益岡公園について

【質問項目】

- (1) 益岡公園の桜の木の管理について
- (2) 益岡公園の野球場バックスクリーンの設置について
- (3) 益岡公園の愛称について

【質問要旨】

益岡公園は花や木、スポーツ施設、白石城があり、白石市の名所である。白石市の顔であり、それゆえ現状に満足する事なく、市民が自慢できる、観光客に喜んでもらえる公園でなければならないと思う気持ちは私だけでなく、山田市長や市職員も同じであると考える。

そこで、次の点について伺う。

(1) 桜の一部には、てんぐ巣病に感染している木も見受けられるが、今後どのような予算で管理を行うのか伺う。

(2) 先日の河北新報に、益岡公園野球場において仙台大学を中心とした女子野球大会が開催されたと報じられ、他県からの出場も多かったと掲載された。しかし、益岡公園野球場にはバックスクリーンがなく、設置には多額の費用を要すると考える。バックスクリーンの設置を検討しているか。検討しているのであれば、規格、予算、期日をお示し願う。検討していないのであればその理由をお示し願う。

(3) 今年も白石城周辺の桜は美しく咲き、河北新報の花だよりには「白石城本丸広場」と掲載された。去年は「益岡公園」と掲載されたが、市外の方は今年の標記の方が分かりやすいと考える。白石市情報センターや白石市文化体育活動センターに愛称がついているように、益岡公園にも愛称をつけてはどうか。公園全体が無理であっても、白石城周辺だけでも市民の意見を聞きながら検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	9 番 小川 正人
会派名	新風未来の会

【質問事項】 4. 白石市の組織について

【質問項目】

(1)副市長を二人体制にしてはどうか。

【質問要旨】

財政は自治体の規模により限りがあるが、人材はその限りではないと考える。それゆえに人材の登用や能力を引き出すことは、欠かすことができない。

市政の中心は市長であるが、山田市長になってから建設部長、教育部長を国から派遣していただき、大いに市政の力になっていただいている。しかし、副市長の努力と苦勞なくしては現行の白石市政はあり得なく、気の毒に感じる時がある。

そこで、副市長の負担を軽減するためにも、副市長を二人体制にし、国、宮城県の人材を登用してはどうか。私は、白石市を良く知っている宮城県から応援いただくのが良いと考える。

市長も驚く提案であると考えているが、市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 子供の食と健康について

【質問項目】

- (1) 子供の肥満予防対策について
- (2) 子供の虫歯予防対策について

【質問要旨】

近年、子供の食をめぐるっては、発育・発達の重要な時期にありながら、栄養素摂取の偏り、小児期における肥満の増加、虫歯の増加など問題は多様化、深刻化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されています。本市の子供においても、肥満や虫歯が増加していると聞いております。

そこで、次の点について伺います。

(1) 肥満が原因となる様々な病気がある中、小児期からの肥満は健康寿命を低下させる要因となります。本市の子供の肥満予防策としてどのようなことを実施していますか。

(2) 虫歯対策はどのようなことを実施していますか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 不妊と食生活の取組について

【質問項目】

- (1)子育て世代に食と生活習慣の重要性を発信しているのかを伺う。
- (2)不妊治療助成金は市民に浸透されているのかを伺う。

【質問要旨】

日本の少子化対策の現状と課題について、少子化の主な要因は晩婚化・晩産化で、1980年代後半から晩婚化・晩産化が進行している一方、厚生労働省では現在の日本では5.5組に1組の夫婦が実際に不妊の検査や治療を受けているとあります。少子化の背景には様々な要因があると思いますが、子供が欲しくてもできない夫婦が存在しているのも事実です。
そこで、次の点について伺います。

- (1)健康な子供を産むためには、健康な身体づくりが大切です。不妊の原因の1つとして食生活の乱れがあります。子育て世代に向けて食習慣や生活習慣等の重要性を発信されているのでしょうか。
- (2)不妊治療を受ける夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図るため、当該夫婦が治療を受ける特定不妊治療費用の一部を市が助成する不妊治療助成金は、市民に浸透されているのでしょうか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6年 6月 6日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 3. 食生活改善と腸内環境改善について

【質問項目】

- (1) 食生活改善と腸内環境改善に関する見解を伺う。
- (2) 腸内環境改善に関する取組について

【質問要旨】

多くの研究者によって、腸は免疫の働きにおいても中心的な役割を果たす最大の免疫器官であることが明らかになってきています。免疫システムを担う免疫細胞の6~7割は腸に生息しています。食物繊維は腸内細菌のエサになり、腸内細菌は口にする食物次第で決まります。近年、食習慣の乱れにより、しっかりとした栄養が腸に吸収されず、腸に生息する免疫細胞が正常に機能しなくなることから、様々な病気を引き起こしやすくなっています。

また、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターでは、認知機能と腸内細菌は強く関連することが分かったと公表しており、認知症がある患者と認知症がない患者の腸内細菌を分析したところ、腸内細菌の内訳（腸内フローラ）が大きく違っていることが分かりました。健康な高齢者には炎症を抑える作用がある腸内細菌が多く生息していると言われていたなど、腸内環境が健康や病気に影響することが分かってきています。

そこで、次の点について伺います。

- (1) 腸内細菌を改善することで太りにくくなることや、病気のリスクが減り、さらには認知機能改善に繋がるということが知られていますが、腸内環境の改善について市長の見解を伺います。
- (2) 食習慣の改善や栄養、さらに認知機能と深く関連する腸内環境の改善について子供から高齢者まで知ることが大切だと思いますが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	10 番 角張 大治
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. (仮称)道の駅しろいしについて

【質問項目】

(1) 農業体験施設について

- ① 提案施設(自主提案事業)に追加したねらいを伺う。
- ② 必須施設に該当するか、提案施設に該当するかを伺う。
- ③ 独立採算施設なのかを伺う。
- ④ サービス対価を伺う。

【質問要旨】

(1)令和5年9月公表の要求水準書(案)において【提案施設(自主提案事業)】には、「PFI事業者の提案による」のみ記載されている。しかし、同年12月公表の要求水準書では【提案施設(自主提案事業)】の部分に「防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)内農業体験施設」が追加された。

- ① 当初の案になかった農業体験施設を途中で追加したねらいを伺う。
- ② この記載では農業体験施設が必須施設なのか、提案施設なのか不明である。どちらになるのか伺う。
- ③ サービス対価(白石市が事業者を支払う対価)の算定方法及び支払い方法に関する資料では、
 - ・ 設計業務、建設業務及び工事監理業務のサービス対価(サービス対価A)
 - ・ 維持管理及び運営業務のサービス対価(サービス対価B)のどちらの項においても、独立採算型施設の提案施設に関する費用は含まないと前置きがある。防災公園(スポーツ・レクリエーション施設)内農業体験施設は独立採算型施設なのか伺う。
- ④ 農業体験施設には、サービス対価A及びBは支払うのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	10 番 角張 大治
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. (仮称)道の駅しろいし及び関連する公共施設について

【質問項目】

- (1)道の駅に関する収支の試算について
 - ①収支の試算を行っているかを伺う。
 - ②収支の試算を公表するかを伺う。
- (2)スポーツ・レクリエーション施設の再配置について
- (3)これからの公共施設の整備について

【質問要旨】

(1)道の駅に関する収支の試算について

①2025年開業予定としている岩手県盛岡市の道の駅、同じく2025年開業予定の福島県石川町の道の駅の計画では、指定管理者や運営事業者が決まる前から調査を行い、収支のシミュレーションや売上・納付金の想定を公表している。白石市では道の駅に関する試算を行っているか伺う。

②第466回定例会では、道の駅関連事業に関して「目標数値はPFI事業者が決定した後に決まっていくものと考えている」との答弁があったが、事業者選定の終了後や実際の予算執行前などには、市の試算と選定事業者の試算は公表されるのか伺う。

(2)市は再配置の基本方針で「可能な限り新規整備を抑制し、必要な場合は同等以上の床面積を縮減する。」としているが、一方で、道の駅の必須施設としてスポーツ・レクリエーションを要求している。この点について、考えを伺う。

(3)市民アンケート結果より「これからの公共施設の整備について、どのように進めていくべきであるとお考えですか」という問いに74.4%の市民が「将来世代に負担を強いることのないよう、公共施設の役割や利用実態を検証した上で、財政状況に見合うように減らすことも考えるべき」と回答しているが、道の駅に設置するスポーツ・レクリエーション施設について市民にどのように納得してもらえるよう説明するのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 幼児教育・保育のあり方に関する基本方針(案) について

【質問項目】

- (1)市内幼児教育・保育施設の充足率について
- (2)答申の説明会で出された高校生等の意見について
- (3)いきいきプラザ跡地の選定理由を伺う。
- (4)認定こども園の送迎バス運行の有無について
- (5)認定こども園の規模（定員の見込み数）について
- (6)子育て支援施設と他の機能を持つ施設との複合化について

【質問要旨】

幼児期に必要な集団活動を確保し、「豊かな出会い」を仕掛ける拠点として、R10年度の完成を目指し、現在の公立幼稚園1園と保育園5園の計6園に代わり、公立の認定こども園を創設する白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針（案）が示されました。

(1)公立の施設の充足率は平均45.7%、私立の充足率は、98.5%と充足率に大きな差があるが、この要因について伺います。

(2)こども基本法第11条「子ども等の意見の反映」では、こども施策の策定・実施に当たり、施策へ反映させるため、こどもや子育て当事者等の意見を聴取するとあります。説明会で高校生、子育て当事者からどのような意見が出され、どのように反映されたのかお聞かせください。(3)は質問項目のとおり、伺います。

(4)6園を1園に集約するということで、地域から通う園児達の足の確保が必要であると考えますが、送迎バスの運行を検討しているか伺います。

(5)認定こども園の定員については基本設計の中で考えていくということでしたが、何を基に、どのようなお考えで定員を算出するのか、その場合の見込み数を伺います。

(6)今後、少子化が進み利用者が減少した場合でも施設を有効に活用できるように、また「多世代の交流拠点」として、敷地面積によりますが、例えば、市民活動センター、図書館、高齢者施設等、他の機能を持つ施設との複合施設として整備するのはいかがか、市長の所見を伺います。

【答弁を求める者】 市長,教育長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 安心して子供を産み育てられるまちづくりについて

【質問項目】

- (1) 0 から 2 歳児の保育料無償化について
- (2) 学校給食費無償化に関する国への要望の進捗状況について
- (3) 出生数が急激に減少した要因について
- (4) 安心して子供を産み育てるための環境整備について

【質問要旨】

6月5日、厚生労働省から、2023年の合計特殊出生率が過去最低となる1.20を記録し、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計のおよそ10年早いペースで少子化が進んでおり、40歳未満の出生率が低下していると発表がありました。「安心して子どもを産み育てられるまち」にするために、今、取り組むべき重点政策は、経済的な負担軽減策ではないでしょうか。市民の生活に寄り添った支援を講じるべきと考えます。

- (1) 0 から 2 歳児の保育料無償化について、こども園の開園と同時期に目指すという説明がありました。現在の少子化のスピードを鑑みれば、財源のこともありますが、すぐにでも取り組むべきことと思います。どのようにお考えでしょうか。
- (2) 学校給食費の無償化について、幾度か一般質問で取り上げられており、国に要望しているという答弁でした。現段階での進捗状況をお示してください。
- (3) 全国的な問題ではありますが、本市の少子化が加速している要因について、市長の見解を伺います。
- (4) 持続可能な市にするために必要なことは、安心して子供を産み育てられるまちにすることなどの環境整備が評価され、「選ばれるまち」になることです。スマートインターチェンジ周辺整備事業、工業団地誘致などの産業振興、移住支援事業の他、特に、現在生活している子育て世代、若い世代の経済的な負担軽減策を講じることが必要と考えますが、市長の見解を伺います。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. マイナンバーカードの健康保険証利用登録等について

【質問項目】

- (1)救急車での実証実験について
 - ①実証実験の認識を伺う。
 - ②実証実験の参加意思を伺う。
- (2)マイナンバーカードの健康保険証利用の拡大対策について
- (3)医療機関の導入状況及び拡大対策について

【質問要旨】

現在、救急車にカードリーダーを搭載し、救助現場で被救助者の情報を取得し、より適切な対応をするための実証実験が、全国の67消防本部（宮城県では仙台市消防本部）で始まっている。この結果を踏まえ、国としては全国に展開していく方針であることが発表されている。現場で、よりスピーディな対応を実現する上でも、このシステムを早急に実現すべきと考える。それを踏まえ、本市の対応としては、マイナンバーカードの健康保険証利用登録普及率の向上と、この制度の全市民への周知に取り組むべきと考える。

そこで、次の点について伺う。

- (1)救急車での実証実験について
 - ①実証実験の認識を伺う。
 - ②実証実験の参加意思を伺う。
- (2)マイナンバーカードの健康保険証利用登録を拡大するため、今後どのように対策をするのか伺う。
- (3)医療機関のカードリーダーの導入状況を伺う。また、導入を拡大するため、今後どのように対策をするのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 2. 内水氾濫防止について

【質問項目】

- (1) 用水路、小川、側溝等の維持管理について
- ① 現在の維持管理の状況と今後の方針について
 - ② 地域住民が実施する場合の支援について

【質問要旨】

市内の多くの水路等では、草木が水路内においても繁茂しており、水路の処理能力（水路を流れる水の量）を著しく減少させている。ゲリラ豪雨に限らず、雨が続きば水路から越流し、内水氾濫を生じさせる危険性が増している。これらを踏まえ、市として可能な限り維持管理、清掃を行うべきと考える。また、市管理河川については計画的に浚渫事業が行われているが、用水路等の小規模水路の管理清掃など、地域住民の協力によるところが大きい。しかし、高齢化及び人口減少が進み作業人員の確保が厳しく管理清掃が困難な地域も少なくない。この状況は今後さらに増加していくと考える。

そこで、次の点について伺う。

(1) 用水路、小川、側溝等の維持管理について

① 現在、市では維持管理をどのように行っているのか伺う。また、このような課題から、今後どのような方針で取り組むのか伺う。

② 地域住民が清掃活動を実施する場合には、ボランティアではなく、何らかの支援も必要と考える。また、地域によっては、高齢化等の事由により人員の確保ができず、対応できない地域もあると考える。市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6年 6月 7日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 3. 大規模災害発生時の仮設住宅等について

【質問項目】

- (1)ムービングハウスを活用してはどうか。
- ①ムービングハウスの認識について
 - ②宮城県と連携してはどうか。
 - ③災害時以外にも活用してはどうか。

【質問要旨】

災害発生時における仮設住宅の設置は県が主体となっている。仮設住宅は、プレハブ住宅を始め様々なタイプがあるが、ムービングハウスを仮設住宅として活用している自治体がある。また、宮城県では、ムービングハウス協会との間で350棟の契約が結ばれており、状況を踏まえた上で、各自治体の要請に基づき設置する予定となっている。本市としても、県との連携を密にし非常時にスムーズな運用ができるようにしておくことが重要と考える。また、能登半島地震において大きく取り上げられたトイレ設備の不足に対して、ムービングハウス式のトイレが非常に役に立っているとの報告もある。

そこで、次の点について、伺う。

- (1)ムービングハウスを活用してはどうか。
- ①ムービングハウスの認識を伺う。
 - ②非常時には、宮城県と連携して仮設住宅としてムービングハウスを設置してはどうか。
 - ③非常時以外でも、ムービングハウスを公園等のトイレやクラブハウス等に活用してはどうか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 1. 本市の教育及び教育環境について

【質問項目】

- (1) 昨年度と今年度の学校支援員の配置状況を伺う。
- (2) 現在の支援員の配置を適正と考えているかを伺う。
- (3) 今後の学校支援員の配置の見通しについて
- (4) 白石中学校の特別支援学級の現状を伺う。
- (5) 特別支援学級の授業に支障は出ていないのかを伺う。
- (6) 今後の白石中学校の特別支援学級への対応を伺う。
- (7) 白石きぼう学園の課題を伺う。
- (8) 元の学校等に戻ったケースはあるのかを伺う。
- (9) 白石きぼう学園卒業後のサポートについて

【質問要旨】

本市の学校教育の充実については、令和元年度から教育改革に取り組み、本市の児童・生徒の基礎学力は確実に向上しているとお聞きしております。そうした中、白石中学校の特別支援学級の現状（生徒数・教室での状況）について、学習環境を改善する必要性を指摘する声や市内小中学校において、学校支援員の増員を求める声も寄せられています。また、全国的に不登校の児童・生徒が増加している中で、昨年4月に開校した不登校特例校、白石南小学校・白石南中学校（通称白石きぼう学園）について、開校1年を経過したことにより、見えてきた課題やきぼう学園卒業後の進路、サポートなどされているのか等、市民の皆さんから寄せられた声を中心に本市の教育及び教育環境についてお伺いいたします。

【答弁を求める者】 教育長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 2. 公立刈田総合病院の現状と地域医療について

【質問項目】

- (1)現在の看護師（正職員・任期付職員）の人数を伺う。
- (2)任期付職員（応援ナース）採用の目的を伺う。
- (3)休床している47床の稼働はいつ頃になるかを伺う。
- (4)外科常勤医師の採用は検討されているのかを伺う。
- (5)令和5年度の収支の見通しを伺う。
- (6)夏季の賞与は支給されるのかを伺う。
- (7)医療費預かり金制度の導入の理由を伺う。
- (8)みやぎ県南中核病院への交通手段の確保について
- (9)みやぎ県南中核病院企業長による答弁の認識について
- (10)今後のみやぎ県南中核病院との連携について

【質問要旨】

公立刈田総合病院が公設民営化となり、2年目となりました。新聞報道等によると収支も改善されているようですが、しかし、その反面で、看護師の確保などの課題もあるとお聞きしています。また、みやぎ県南中核病院との連携について、2月9日付の地元紙報道で、みやぎ県南中核病院の企業長が一般質問で公設民営化した公立刈田総合病院との機能連携について「（両病院の）協議で（みやぎ県南中核病院が）仙南唯一の急性期病院になると決まった。行政には広く当院を支えていただける仕組みづくりをお願いしたい」と答えたと報じられていました。そこで、この記事の内容について、本市の認識を伺うとともに、市民の皆さんから、みやぎ県南中核病院への通院の手段について、市民バスの路線延長を求める声が大変多く寄せられていることから質問いたします。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 9 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	2 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. (仮称) 白石中央SIC周辺整備後の本市経済効果について

【質問項目】

- (1)PFI事業者の自主提案事業について
- (2)事業の維持管理・運営の期間について
- (3)仙台南部工業団地エントリー企業について
- (4)エントリー企業募集要領の内容について
- (5)エントリー対象企業の要件について
- (6)エントリー企業の想定規模について
- (7)本市財政に寄与する歳入規模
- (8)市民経済にもたらされる経済効果について

【質問要旨】

周辺整備の運用開始後、本市の活性化、災害時の安全確保、企業進出による雇用増加、本市財政自主財源の増加による柔軟な市民サービスの更なる向上を大いに期待するところである。そこで、周辺整備に関連した内容で以下質問する。

- (1)PFI事業者の提案による自主提案事業がなかった場合は、その事業の為に確保したスペースはどのように利活用する予定なのか伺う。
- (2)PFI事業者が維持管理・運営を、開業日から令和24年6月までの15年間とした理由を伺う。
- (3)令和5年4月にエントリー企業募集が開始後、エントリー登録し、意見交換や相談を続けている企業は何社あるのか伺う。
- (4)端的に言えば先着順で企業進出が有利になるという意味なのか、そうではないのか、詳しい説明を求める。
- (5)対象企業の要件について、「製造業、その他の業種(制限有)」となっているが、制限されるその他の業種について具体的な説明を求める。
- (6)自主財源確保の観点から、協定締結の目標として、エントリー企業規模は法人市民税均等割分課税額の区分でどこをターゲットにしているのか伺う。
- (7)周辺整備事業コンセプトが各施設や工業団地が運用後達成されるところとした場合に想定される本市財政に寄与する歳入規模をどう見込んでいるのか伺う。
- (8)前述質問同様、想定される本市市民経済にもたらされる経済効果、市内総生産の増加をどの程度に見込んでいるのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 6 月 9日

白石市議会議長 殿

質問順位	10 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 第1回女子硬式野球交流大会について

【質問項目】

- (1)同大会に本市が共催となった経緯を伺う。
- (2)共催として本市が経費等の負担をした面はあるか。
- (3)宿泊地に本市の宿泊施設が選ばれた経緯を伺う。
- (4)今後も同大会への共催を本市で実施する意向はあるか。
- (5)今後、益岡公園施設への設備強化のお考えはあるか。

【質問要旨】

4月27・28日に益岡公園野球場にて開催されました同大会は、全国から10チームが集い、熱戦が繰り広げられました。大会前日には記念講演会を本市中央公民館にて行われ、懇親会はやまぶき亭にて行われました。県外チームの宿泊は小原温泉ホテルいづみや、鎌先温泉最上屋旅館を使用してもらい、本市に大きな経済効果をもたらしてくれたイベントになったかと思われまます。大会関係者、選手からも宿泊地等が好評で第二回大会以降も是非本市で開催したいというお声もある中、要望の声も上がりました。つきましては下記の質問をさせていただきます。

- (1)同大会に本市が共催となった経緯を伺う。
- (2)共催として本市が経費等の負担をした面はあるか。
- (3)宿泊地に本市の宿泊施設が選ばれた経緯を伺う。
- (4)今後も同大会への共催を本市で実施する意向はあるか。女子野球競技人口は右肩上がりです。拡大が見込めるイベントですので第二回大会以降も共催していくべきと考えます。
- (5)今後、益岡公園施設への設備強化のお考えはあるか。野球場は全国大会を開催するには設備が不十分というお言葉をいただき、公衆トイレも女性側は使用に躊躇する状況とお聞きしました。大会関係者や益岡公園を使用する市民の方々のご意見を聞き、設備強化を図るべきと考えます。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和6年6月10日

白石市議会議長 殿

質問順位	11 番
議員名	8 番 氏 名 四竈英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 再生可能エネルギーの推進について

【質問項目】

- (1) 風力・太陽光発電事業に対する本市の見解について
- (2) 風力・太陽光発電事業の実施までの仕組みについて
- (3) 風力・太陽光発電事業の懸念事項について
- (4) 風力・太陽光発電事業者による地域等への貢献について
- (5) 脱炭素社会を目指し、本市ではどのような施策を講ずるのか。

【質問要旨】

地球温暖化の影響により極端な大雨、高温干ばつ、異常低温など気象に大きな影響が生じております。これらは火力発電所などから排出される温室効果ガスが地球を覆い太陽の熱が閉じ込められることによって起こる気候変動が原因と言われております。またセメントや鉄、銅、プラスチックなどの製造工場で化石燃料を燃焼させることでも排出されます。さらに森林を伐採することで、二酸化炭素の大気への放出をとどめる自然の力も低下します。

これら温室効果ガスの発生を減らすため、代替エネルギー事業（太陽光発電、風力発電等）が進められています。現在本市においても風力発電や太陽光発電事業を実施又は計画している事業者がありますが、これらに対する本市の対応についてお伺い致します。

- (1) 風力発電事業や太陽光発電事業に対する本市の見解を伺う。
- (2) 風力発電事業や太陽光発電事業の実施までの仕組みや市の関わり方を伺う。
- (3) 風力発電事業や太陽光発電事業を実施する上で懸念事項はあるか。また、懸念事項に関して市ではどのように対応するのか伺う。
- (4) 風力発電事業や太陽光発電事業では、市にとってメリットはあるのか。また、市や地元地域への貢献が見込まれるのか伺う。
- (5) 再生可能エネルギーの推進のほか、脱炭素社会を目指し、本市では、今後どのような施策を講じていくのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和6年6月10日

白石市議会議長 殿

質問順位	11 番
議員名	8 番 氏 名 四竈英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 今後の小中学校教育のあり方について

【質問項目】

- (1)本市として答申をどのように受け止められたのか伺います。
- (2)説明会の結果父兄や市民の方の受け止め方はどうだったか伺います。
- (3)小中学校の再編についてどのような構想か伺います。
- (4)再編する理由を伺います。
- (5)小中一貫校の構想がありますがその理由を伺います。
- (6)遠距離通学になった場合の対策を伺います。
- (7)スクールバスを運行した場合下校時間が異なることへの対応を伺います。

【質問要旨】

進行する少子化の現状から、将来の本市の学校教育をどのようにするかは喫緊の課題です。本市では学校教育・保育審議会に「小中学校教育のあり方に関する事項」について諮問を行ってきました。その結果昨年7月に答申がなされ、その内容を父兄を始め広く市民に知ってもらうため各地区の公民館等で説明会が開かれました。今後10年間を見据えた本市の学校教育について多くの意見を集約した答申であり、非常に重く受け止められるものと思います。そこで次の点についてお伺い致します。

- (1)本市として答申をどのように受け止められたのか伺います。
- (2)説明会の結果父兄や市民の方の受け止め方はどうだったか伺います。
- (3)小中学校の再編についてどのような構想か伺います。
- (4)再編する理由を伺います。
- (5)小中一貫校の構想がありますがその理由を伺います。
- (6)遠距離通学になった場合の対策を伺います。
- (7)スクールバスを運行した場合下校時間が異なることへの対応はあるのか伺います。

【答弁を求める者】 教育長